

## 第 16 回

# 豊の国医療コミュニケーションの集い (Workshop) ご案内

## 響き合いネットワーク大分

いま医療において、「コミュニケーション」の重要性が叫ばれています。「コミュニケーション」とは、何でしょうか？ また、どのようにしてそのポイントを身につければよいのでしょうか？

このような問題意識を持ちながら、「豊の国医療コミュニケーションの集い」は 2001 年暮れに、種々の職種の医療者や医学生だけでなく、患者さんも参加して、参画型学習法であるワークショップとしてスタートしました。この集いから多くの模擬患者(SP)\*が誕生し、「**豊の国医療教育ボランティア会 (豊の国 SP 研究会)**」として発展し、大分大学医学部および附属病院だけでなく、主として県内の医療面接教育の場で活躍しています。医療コミュニケーションのあり方を学びながら、「**コミュニケーションには癒しがある**」ことを再発見したり、「**やわらかな 1.5 人称**」という私共の行動目標となる新しいコンセプトもこのワークショップの場で生まれ、いま全国区の言葉として広がっています。また、本ワークショップ参加者を核にして昨秋「響き合いネットワーク東京」が、続いて本年「ひびきあいネットワーク長崎」が誕生しました。今回は、これら全国的なネットワークから多くの方が参加して下さいます。

医療コミュニケーションに関心のある方は、どなたでも自由に参加できます。また、医療コミュニケーションに興味のある方は気軽にご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。

平成 19 年 12 月 20 日

世 話 人： 中野 重行 大分大学医学部 創薬育薬医学 教授  
国際医療福祉大学 大学院 教授  
NPO 法人 豊サポート 理事長

森 照明 国立病院機構 西別府病院 病院長  
NPO 法人 豊サポート 理事

アドバイザー： 高木 良三郎 大分医科大学 名誉教授  
大分医科大学 元学長

前田 純子 岡山 SP 研究会 代表  
大分大学医学部 非常勤講師



主 催：NPO 法人 豊の国よりよき医療と健康づくり支援センター (NPO 豊サポート)  
共 催：大分大学医学部創薬育薬医学講座／国立病院機構 西別府病院  
豊の国医療教育ボランティア会 (豊の国 SP 研究会)

---

\* **SP**・・・SP とは 模擬患者 のことです。 Simulated patient、または standardized patient の略です。医療者の医療面接教育の現場で、与えられたシナリオを基にして、患者役を演じてご協力いただく「医療教育ボランティア」です。現在、医学生・薬学生・看護学生をはじめとした医療者教育の現場では、なくてはならない存在になって活躍しています。

